

平成29年度 第8回石岡市ふるさと再生会議 会議録

1 会議の名称

平成29年度 第8回石岡市ふるさと再生会議

2 開催日時

平成29年11月20日（月）14時から15時まで

3 開催場所

石岡市役所本館1階大会議室

4 出席者

13人

5 会議録（要旨）

（1）開会

（2）会長挨拶

（3）議事

1) まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略の改訂（案）について

【会長】

事務局より資料1の説明をお願いします。

【事務局】

資料1説明

【会長】

ご意見、ご質問あればをお願いします。

【委員（質疑）】

○レンタサイクルの利用できる場所はどこか。

→（事務局）高浜駅前を利用できる。

○「基本目標3若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」の内容を知りたい。

→（事務局）（総合戦略を使用し、具体的事業等を説明。）

○改訂対象となっている「いきいきプラン事業」は小学校だけでなく、中学校も対象となっているのか。

→（事務局）中学校も対象となっている。

【委員（自由意見）】

○広報について

- ・地元のことで意外に地元の人知らないため、情報発信にさらに力を入れて取り組んでもらいたい。
- ・市の職員だけで取り組むのではなく、対策を可視化する意味で、外部人材の活用を検討してはどうか。
- ・介護保険などの制度について、わかっていない人が多いので、簡単な言葉で広報するなど市民に分かりやすい工夫をすべきではないか。
- ・ヨソモノの視点により市の魅力の再発掘が必要と考える。地域おこし協力隊も導入していることなので、そういった視点を活用してはどうか。
- ・茨城新聞に石岡枠を設けるなど、地元新聞の活用を検討してはどうか。
- ・受け手に立った情報発信を行ってもらいたい。（献上柿がどこで買えるか知りたい。）

○観光PRについて

- ・市内の観光施設、見どころを結んでコースとして紹介することで、知られていない良いところを周知してみてもどうか。（ギター文化館をさらに広めたい。）
- ・東京千葉方面から朝日トンネルを利用して笠間、茂木方面に抜ける人がいるため、そうした人に市内観光してもらうことで交流人口の増につなげてはどうか。
- ・茅葺民家の観光活用について検討してもらいたい。現状では、どこに行けば見られるのかわからないし、実際に住んでいる物件なのでためらいがある。
- ・夜の星空や馬滝、上青柳の自然など、今の自然をそのまま満喫してもらうよう検討してもらいたい。（八郷地区の夜の“暗さ”は売りとなる。）
- ・誘客はターゲットを明確化し、石岡市にあって、相手方になくものを明確化して行う。
- ・点ではなく、線で魅力を紹介してはどうか。

○観光受け入れ環境について

- ・イルミネーションに行ったが直売所が6時で閉まっていた。周辺施設の受け入れ環境の改善や、民間のアイデアを活用すべきではないか。
- ・もう一度行きたいと思わせる仕組み作りが必要ではないか。
- ・移住者の話を聞くと、日帰りではなく滞在することで、より石岡市の魅力を感じる人が多い。もっと滞在施設が市内にあれば良いのでは。
- ・コストをかけず民泊などを検討できればいいのでは。実施にあたっては、

民間活力を活用してもらいたい。

- ・ レンタサイクルを八郷地区でもできるようにするなど、自転車で周遊できる環境整備をすると良いのでは。
- ・ トレイルラン参加者が多いことからコースの紹介や、発着所としてつくばねの活用を図ってはどうか。

○駅舎・中心市街地のにぎわいについて

- ・ 駅舎が綺麗になったが、駅前が寂しい。
- ・ ステーションパークの活用や、利き酒ができる施設などがあれば良いと感じる。
- ・ 西口の利用者が少ないため、利用者の増加を図ってもらいたい。

○大学との連携について

- ・ シェアリングエコノミーなどの10年前では考えられなかった商売が増えてきている。ヒトモノカネの循環のため、新しいビジネスの可能性検討など、大学の専門性を活用してもらいたい。
- ・ 地域おこし協力隊の育成のため、大学との連携、学生との交流などを一緒に進めていきたい。

○地域おこし協力隊について

- ・ 地域おこし協力隊に地域活性化案を出して頂きたい。
- ・ 分野ごとの採用になると、市全体の問題意識や課題の共有が図られないことがあるため、留意すべき。
- ・ 過度な期待を持たず長い目で、育成を図ってもらいたい。
- ・ 受地域おこし協力隊連絡会議を設けるなど入れ側の協力や支援をしっかりと行ってもらいたい。

○創業支援について

- ・ 創業支援をしっかりと行い、市内の職の確保をしてもらいたい。

【会長】

改訂（案）については、原案の通り了承することといたします。

また、自由意見は検討および実施に向けて市につないでまいります。

(5) 閉会

以上